

大スクリーンで蘇る文芸映画の超大作！



トルストイ生誕175周年記念

上映時間7時間5分！ ロシア国家の一大事業として製作された未曾有の映画

戦争と平和

война и мир

4部作完全版 これが日本最後の1日限りの一挙上映！



第1部「アンドレイ・ボルコンスキー」

第2部「ナターシャ・ロストワ」

第3部「1812年」

第4部「ピエール・ベズーホフ」

◎2003年9月15日（月・祝） 時11:30開場 / 12:00開映

◎東京・イイノホール

第4回モスクワ国際映画祭グランプリ・審査員特別賞 / 1967年度米アカデミー外国語映画賞

原作 / レフ・トルストイ 製作・監督・脚本・主演・ナレーター / セルゲイ・ボンダルチュク 共同脚本 / ワシリー・ソロヴィヨフ
撮影 / アナトール・ベトリツキー 美術 / ミハイル・ボグダーノフ、ゲンナジー・ミヤニコフ 音楽 / ヴィエチェスラフ・オフチニコフ
出演 / リュドミラ・サヴェーリエワ / ヴィヤチェスラフ・チーホノフ / アナスタシア・ヴェルチンスカヤ
1965～1967年 / カラー / シネスコ / モノラル / ロシア語・日本語字幕（英語字幕はついていません） / 約7時間5分

主催 / (株)キネマ旬報社

映画史上屈指の名作!

「戦争と平和」4部作(1965~67)は、「人間の運命」(M・ショーロホフ原作)のセルゲイ・ボンダルチュク監督が、文豪トルストイの不朽の名作を完全映画化した超スペクタクル・ロマンである。5年の歳月と当時の3000万ルーブル(現在の約500億円!)の巨費を投じて、60万人のエキストラ、696時間分のフィルム、1日最大2万人の食事、戦闘シーンの武器や火薬、はては衣装・美術品に至るまで、当時のロシアの国家的事業として製作された。

人類は生きている間にこの映画を凌ぐ作品にめぐりあう事は不可能だろう。

ロシアを知る人も知らない人も、そして「戦争と平和」を読んだ人も読まない人も、絶対にこの映画は見るべきだ。それも7時間5分を一挙に大画面で見るのが最良の方法である。

—— やなせたかし(漫画家)

「戦争と平和」を見たあと、胸を満たしてくれるのは「人間が生きること」のこの素晴らしさである。

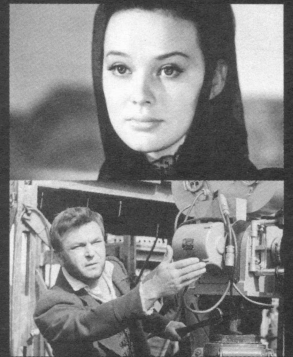
—— 辻 邦生(作家) 1993年公開時パンフレットより



ロシアに注目の集まる2003年、満を持しての完全上映!

トルストイの生誕175周年であり、サンクトペテルブルク建都300周年である2003年。「ロシアにおける日本年」プロジェクトでは今秋サンクトペテルブルクで美術展を開催予定。また11月よりNHKホールにてキーロフ・オペラ「戦争と平和」が上演される。ロシア文化そしてトルストイに改めて注目が集まる今年9月、日本最後の「戦争と平和」完全上映の幕が開く。

19世紀初頭、ナポレオン軍侵攻を迎えるロシア。祖国愛に燃える若き貴公子アンドレイは、伯爵令嬢ナターシャと恋に落ちる。ふたりは婚約するがアンドレイの海外遠征中に伊達男にかどわかされたナターシャは彼を裏切ってしまい、婚約は破棄される。自己嫌悪と深い悔恨に苛まれるナターシャ。ナターシャの裏切りを許せないアンドレイ。そしてアンドレイの親友で、ナターシャに密かに深い愛情を抱く知識人ピエール。彼らの恋を軸に、豪華絢爛の貴族社会から殺戮の戦場へと、壮大な歴史がいま、動くのだった…。



●日時 2003年9月15日(祝) ●会場 イイノホール(東京都千代田区内幸町2-1-1)

●開場 11:30 ●開映 12:00(終演予定 20:30頃)

●料金 前売 ■食事付き(限定200枚)4,200円 ■食事なし 3,000円
当日 ■3,500円(当日券は食事なし)

特製パンフレット限定300部販売 1,000円(税込)

前売・当日ともに自由席。食事はロシア料理店ペチカ特製ロシア風弁当。ホール内のロビー、客席にてお召し上がりください。

前売券はチケットぴあ(0570-02-9111)、キネマ旬報社HP(<http://www.kinejun.com>)にて8月上旬より発売

●お問合せ 株式会社 キネマ旬報社事業部 jigyo@kinejun.com TEL:03-3815-7131